

OKWAVE、ブロックチェーン開発会社を設立

日本初、最大級のQ&Aサイト「OKWAVE」を運営する株式会社オウケイウェイヴ(本社：東京都渋谷区)は、100%子会社であるOKfinc LTD.(本社：マレーシア ラブアン)を親会社とし、ブロックチェーン開発を専門とする新会社 OK BLOCKCHAIN CENTRE SDN. BHD.を2018年5月9日にマレーシアのジョホールバルに設立すると発表した。

設立した新会社は、同社の事業推進におけるコア技術と位置づけているABCテクノロジー、「AI(人工知能)」、「Blockchain(ブロックチェーン)」、「Chat(チャット)」の中で、ここ1年間で爆発的な伸びを示し続けている暗号通貨市場を支えるブロックチェーン技術を軸に、銀行間送金決済、暗号通貨(仮想通貨)ウォレット、暗号通貨取引所システムといった、フィンテック領域の中核を担うブロックチェーンシステム開発を主たる事業目的とする。また付随業務として、KYCサポート、AMLサポートといった暗号通貨運用フェイズの諸業務も、パートナー企業と協力の上で行う予定である。

新会社は、マレーシアのイスカンダル開発エリアの中心地であるジョホール州の高層オフィス「メディニ9」を本社とする予定で、マレーシア政府、現地の大学、そして現地有力企業と多岐にわたるコラボレーションを行い、ジョホール州をブロックチェーン開発特区にすることを目指す。なお、2020年までに大幅な技術者の確保に努め、開発体制を構築する計画である。

マレーシア日通、シャーラム工業地区に新倉庫を建設

日本通運のマレーシア現地法人、マレーシア日本通運は、セランゴール州シャーラム工業地帯に建設する新倉庫の地鎮祭を5月9日に開催したことを明らかにした。

新倉庫は鉄筋コンクリート造りの2階建てで、延床面積は6万3,421平方メートル。倉庫面積は4万7,373平方メートル、事務所は4,251平方メートルで、2019年12月の開業を予定している。

同社は、マレーシアの経済成長率は約5%と堅調に推移し、同国では国民所得の上昇により個人消費の伸長が著しく、今後は消費財の流通量増加に伴い、国内物流・倉庫需要が高まると見込み、またシャーラム工業地区は、マレーシア最大の消費地である首都クアラルンプールに近く、主要港であるポートクラン港、クアラルンプール国際空港へのアクセスが良く、物流拠点として好適な立地にあるため、同地区に新倉庫の建設を決定した。この地域での国内販売物流、製造物流(ジャストインタイム納品)、空調施設を利用した定温保管やハラル商品の保管・配送など高度化する顧客のニーズに応える。

神栄テストマシナリー、試験機の製造販売の開始

神栄テストマシナリー(本社・茨城県つくば市)は6月14日、マレーシアの関連会社において試験機の製造および販売を開始すると発表した。

事業拡大の一環として、マレーシアの関係会社に試験機事業の対応体制を構築し、その第一弾として包装貨物用落下試験機の製造と出荷を7月から開始する。

同社は2015年に東南アジア諸国連合(ASEAN)経済共同体が発足し加盟国間の関税がほぼ撤廃されたことで、マレーシアやタイを中心に東南アジアにおける工業分野は堅調な成長が見込まれる中、物流対応はますます重要となり、特に物流過程で荷物が受ける落下や衝撃への対策で必要となる試験機の需要が伸張すると判断し、ジョホール州に拠点を置く関係会社であるSHINYEI KAISHA ELECTRONICS (M) SDN. BHD.を東南アジアにおける試験機事業の拠点とすることを決定した。同社では汎用型試験機の製造、東南アジアでの試験機の販売およびメンテナンスを行う。

ニプロ、マレーシアで透析関連商品の直販開始

ニプロ(本社・大阪市北区)は6月14日、マレーシアの連結子会社、NIPRO MALAYSIA SDN.BHD.が5月よりマレーシアにおける透析関連商品の直販を開始したと発表した。ニプロは同時に、シンガポールにおいても直販を開始した。

マレーシア、シンガポールの推定血液透析患者数はそれぞれ約3万7千人、約6千人で透析患者数増加やダイアライザ(人工腎臓)のシングルユース化を背景に、将来的な市場規模拡大が期待されている。

そこでニプロは従来の代理店を通じての販売体制に替え、直販体制をもって自社営業網を両国に展開し、顧客からのニーズを的確かつ迅速に把握、より質の高い提案型営業、サービスを行うことで、さらなる顧客の満足度向上および競合他社との差別化を図っていく方針だ。

大西衣料とコイケ、KLでポップアップショップをオープン

大西衣料(本社・大阪府大阪市)は、コイケ(本社・東京都品川区)のマレーシア現地法人 KOIKE MALAYSIA SDN. BHD.との共催で、2018年6月22日から27日まで、クアラルンプール伊勢丹 KLCC店の2階イベントスペースにおいてポップアップショップをオープンした。

継続的な経済成長が見込まれる東南アジア市場においては、衣料品需要がこれからも増加していくと見込み、同社は“流通の未来を研究し、人びとの暮らしを革新する”というグループビジョンのもとに、中間流通として培ってきた商品調達力・編集力の提供対象を、日本国内だけでなく海外にも拡大する方針である。

その一環として、日本企画の衣料品・服飾雑貨が現地の生活者にどのように受け入れられるかを調査・検証するために、この度マレーシアにおいてコイケ、コイケマレーシアとの共催で期間限定の実店舗販売を行った。今後もマレーシア国内での継続的なポップアップショップの出店を計画している。